キレイで、未来を創造する。

sanko R

社名	サンコーリサイクル株式会社
所在地	〒476-0006　愛知県東海市浅山三丁目190番地
電話 / FAX	052-601-8883 / 052-601-8863
代表者	代表取締役　金田 琳
資本金	2,100万円
関連会社	株式会社SRE
業務内容	産業廃棄物処分業 産業廃棄物収集運搬業 汚染土壌処理業
許認可等	【汚染土壌処理業】許可番号 愛知県 第02310010004号 【産業廃棄物処理】許可番号 愛知県 第02320015340号 【産業廃棄物収集運搬】許可番号 愛知県 第02300015340号
加盟団体	公益社団法人全国産業資源循環連合会 一般社団法人愛知県産業資源循環協会 一般社団法人愛知県産業資源循環協会青年部 一般社団法人日本汚染土壌処理業協会

https://www.sanko-re.co.jp/

できることから丁寧に、自分たちなりの社会貢献

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
当社は2020年度より、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、サステナビリティに関する取り組みを進めてまいりました。
自社の環境負荷の影響を数値化し始めて6年目、本レポートの発行は5回目を迎えることができましたのは、ひとえに皆さまの温かいご支援、ご指導の賜物と、心より感謝申し上げます。
この5年間で、私たちの事業は着実に成長し、売上も拡大を続けております。
その一方で、環境負荷の低減にも積極的に取り組み、産業廃棄物の処理・収集運搬・オフィス運営における省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用を進めた結果、二酸化炭素排出量は減少傾向に転じております。
事業拡大と環境負荷低減の両立は、私たちのサステナビリティ経営の大きな成果のひとつと自負しております。
本レポートでは、これまでの取り組みと成果、そして今後の重点課題についてご報告するとともに、ステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な未来の実現に向けた歩みを進めていく決意をお伝えしたいと考えております。
今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、
心よりお願い申し上げます。

サンコーリサイクル株式会社
代表取締役　金田 琳

Company Philosophy

サンコーリサイクルの企業理念

To the earth where we live.

Contaminated soil generated from living environment. Contaminated soil generated from corporate activities. There are wastes that cannot be reduced as they are.

私たちの住む大地へ

生活環境から発生する汚染された土。企業活動から発生する汚れた土。そのまま還元できない廃棄物があります。

To the Mother Ocean.

Contaminated water generated from living environment. Dirty water generated from corporate activities. There is water that cannot be drained as it is.

私たちの母なる海へ

生活環境から発生する汚染された水。企業活動から発生する汚れた水。そのまま排水できない水があります。

We will continue to pursue this goal.

Return the waste created by people to our water and land. For the future of our children.

私たちは目指します。

人々が作り出した廃棄物を、私たちの水と大地への還元を。私たちの子供達の未来のために。

サンコーリサイクルは、2030年に向けたビジョンの実現を目指し
ESG・SDGsへの取り組みを強化しています。

SDGs（読み方：エス・ディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。持続可能で、誰一人取り残さない社会の実現を目指すために、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた世界共通の目標です。

About us

サンコーリサイクルの事業内容

汚染土壌、汚染汚泥、建設汚泥の同時受け入れが可能な全国有数の浄化処理プラント。

汚染土壌処理が厳しい基準で許可制度になって以来、当社は愛知県で初の許可を受けました。これまでの建設汚泥処理に加えて汚染土壌処理、さらには今後増えるであろう汚染汚泥の浄化処理も可能です。
一ヵ所で3つの異なる性質の土を同時に処理できるのは全国でも有数。土の状態に合わせて浄化処理の発注先を分ける必要がなく、とても効率的です。土壌や汚泥の保管設備の設計、処理設備の配置など、20年を超える汚泥処理技術で培ったノウハウが同時受け入れ、浄化・リサイクル処理を可能にしています。

汚染土壌
CONTAMINATED SOIL

汚染汚泥
CONTAMINATED SLUDGE

建設汚泥
CONSTRUCTION SLUDGE

CONTAMINATED SOIL
汚染土壌処理

確実にリサイクルする二段階の洗浄処理。
効率よりも効果を最優先して汚染土壌を無害化します。

CONTAMINATED SLUDGE
汚染汚泥処理

重貴金属を含んだ汚泥を扱える有数のプラント。
これからも増加する汚染汚泥の浄化にお応えいたします。

CONSTRUCTION SLUDGE
建設汚泥処理

建設工事等から発生する汚泥を厳しい浄化基準でリサイクル。
20年を超える浄化処理の経験と実績で、街の開発を支えます。

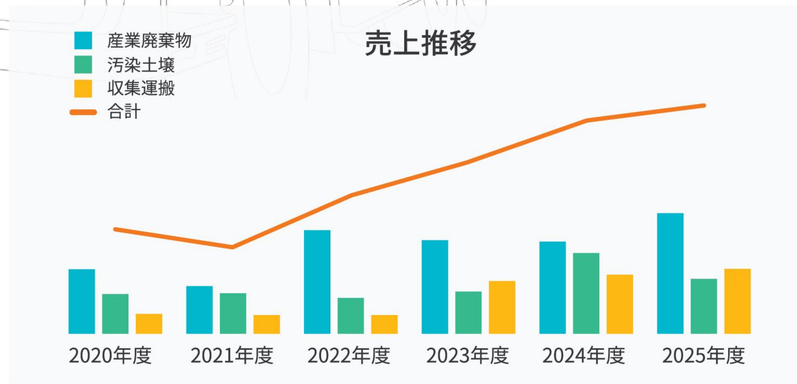
TRANSPORTATION
収集・運搬事業

東海地方トップクラスの保有台数。陸路と海路を使い、日本全土を網羅します。

Company History

サンコーリサイクルのあゆみ

平成5年8月	設立
平成6年	汚泥の中間処理施設　新規許可取得 （分級・脱水・造立固化）
平成9年	産業廃棄物収集運搬業　新規許可取得　（愛知県）
平成24年	産業廃棄物収集運搬業　新規許可取得　（三重県） 産業廃棄物収集運搬業　新規許可取得　（岐阜県）
平成25年	汚染土壌処理業許可取得　浄化等処理施設 （浄化（抽出ー洗浄処理）
平成28年	産業廃棄物収集運搬業　新規許可取得　（静岡県） 産業廃棄物収集運搬業　新規許可取得　（長野県） 汚染土壌処理業　分別等処理施設　許可取得 分別等処理施設（異物除去）
平成30年	一般建設業許可取得
令和3年	SBT（Science Based Targets）認証取得



環境

Environment

環境との共存・共栄

関連するSDGs

人が快適な生活を送る土台にあるのは交通インフラです。交通インフラを発展及び維持するためにはそれだけ整備する必要があり、その過程で汚泥をはじめとする廃棄物が発生してしまいます。それの廃棄物を適正処理することによって、汚染された土壌や水質の発生を抑止しています。さらに、日本における埋め立て処分場の寿命が15年とされている中で土を再生することで社会の中で循環していくビジネスモデルを構築することを努めます。
一方で、事業活動を通じて温室効果ガスを排出してしまうリスクが発生します。間接的な要因と見做されている大規模な自然災害が相次ぐなど気候変動に起因する諸問題は、現在進行形で待ったなしで進行しています。また更なる潜在的なリスクがある中で、事業活動にも影響を及ぼすものであると認識しています。サンコーリサイクルも自社の事業活動における二酸化炭素削減に意欲的に努め、お客様やお取引様とともに推進していくことに努めます。

地球温暖化抑制のため、燃料はすべてGTL燃料※を使用しています。

重機、工場内の機器に使用する燃料はすべてGTL燃料です。二酸化炭素の排出量が少なく、環境負荷の低いエネルギーと言われ、処理工程の時点から環境に配慮することができます。

※ GTL（Gas to Liquids）…天然ガス由来の製品であり、環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料。

人・地球にもっと＋

廃棄物適正処理

サンコーリサイクルのコミットメント	2025年度実績	2030年までの目標	SDGsの貢献ターゲット
産業廃棄物の処分量	171,190.28トン	200,000トン	3.9/6.3/12.4/12.5
汚染土壌の処分量	47,237.43トン	200,000トン	
産業廃棄物の再資源化量	171,172.96トン	リサイクル率100%	
汚染土壌の再資源化量	47,237.43トン	リサイクル率100%	

新たな処理施設や技術の開発・導入、IoTの活用などによる自動化・効率化を進めることで、産業廃棄物の処理能力の拡充を推進しています。
また、無害化した廃棄物の再資源率向上にも積極的に取り組んでいます。

人・地球を守る

気候変動対策（緩和）

サンコーリサイクルのコミットメント	2025年度実績	2030年までの目標	SDGsの貢献ターゲット
バリューチェーン内における GHG排出量の抑制（スコープ1、スコープ2）	661トン	基準年より42%削減	7.3/12.4/13.1
バリューチェーン内におけるGHG排出量の抑制（スコープ3：グリーン購入を実行した品目数）	78品目	グリーン購入の継続と スコープ3での削減効果を定量化	
電力使用にかかる再エネ比率向上	100%	100%	7.2
適切かつリサイクルした排水処理量	10,775㎥	年度ごとにモニタリング	6.3/6.6/12.4/14.1/14.2

産業廃棄物の収集・運搬・処理などすべての事業活動で、グリーン購入や再生可能エネルギーの積極的な導入により温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。また排水処理においても継続的なモニタリングにより、環境負荷のない水を地球に戻しています。

Scope1（直接排出）

対象	CO2排出量（t-CO2/年）
ガス（LPG）	0.066
ガソリン	6.00
軽油	310.5
GTL	343.4
LPG（営業車）	0.3
合計	660.266

Scope2（間接排出）

対象	CO2排出量（t-CO2/年）
電気	0
合計	0

Scope1、2
CO2排出量合計　660　t-CO2/年

※ Scope1…自社での燃料使用や工業プロセスによる直接排出　※ Scope2…自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出
※ 対象となる温室効果ガス…算定・報告・公表制度における温室効果ガスと同じ、エネルギー起源CO2、非エネルギー起源CO2、CH4、N2O、HFCs、PFCs、SF6、NF3

※ 2025年度は、2025年4月～2026年3月と定義します。

Targets and Results

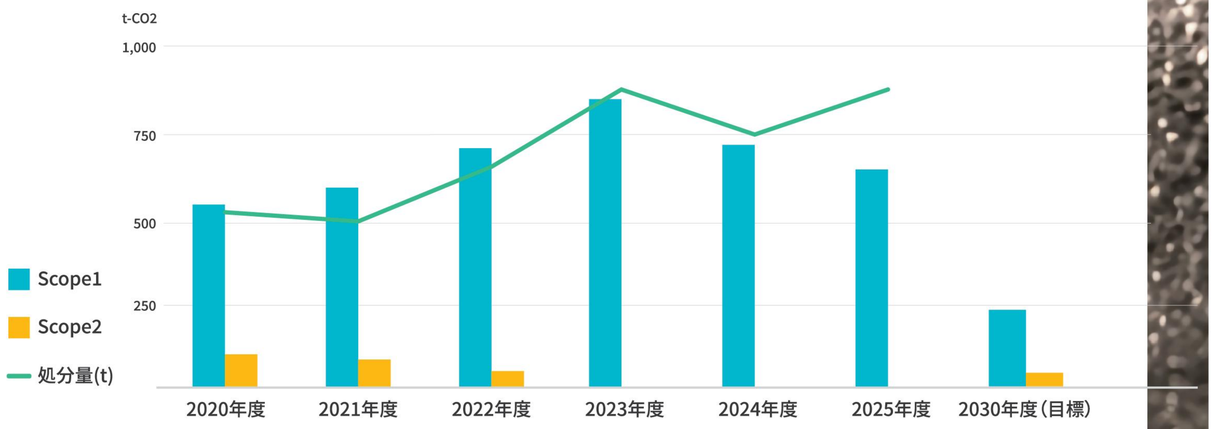
目標値と実績

近年、猛暑や豪雨棟の異常気象による被害が甚大化しており、地球温暖化による気候変動はますます社会に大きな影響を及ぼしています。
気候変動に対しての取り組みは国だけでなく、企業が自らの事業活動やサプライチェーンを通じて排出する温室効果ガスを削減し、
地球温暖化の防止に貢献していくことが重要です。

SBT（Science　Based　Targets）とは、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス排出量削減目標を立てていることを
認証する国際認証です。
パリ協定が求める水準とは、地球の気温上昇を産業革命前より2°Cより低く保ち、さらに1.5°Cに抑える努力をすることです。
サンコーリサイクルは2021年にSBT認定を取得しており、
2020年度のCO2排出量を基準とし、2030年度までに42%のCO2排出量を削減することを目標としています。

年間CO2排出量（t-CO2）

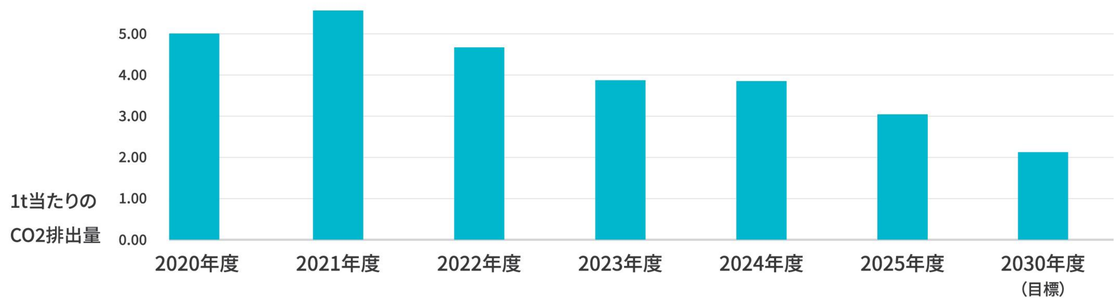
	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2030年度（目標）
Scope1	551	598	719	865	730	660	231
Scope2	101	83	54	0	0	0	43
処分量（t）	129,815	123,187	165,942	223,231	189,083	218,427	



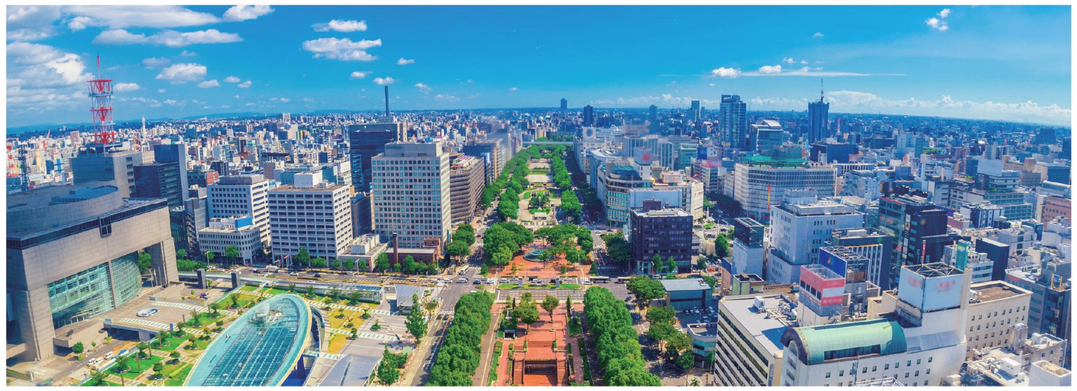
2024年度のCO2排出量は730t-CO2となっております。CO2の排出量は事業活動が活発になると増加しますが、基準年の2020年度と比較して、
2025年度の処分量は68%増加しており、CO2排出量は1%の増加となっております。
Scope1とは軽油・ガソリンの使用料が該当し、Scope2は電気事業者から購入した電力量が該当します。
Scope1は、収集運搬で使用しているトラックのCO2排出量が大部分を占めています。現状弊社が保有している収集運搬車両はEVやハイブリッドが
まだ市場に出ていないので、少しでも環境負荷が少ないGTL燃料を収集運搬車両の燃料として使用しています。
Scope2においては、毎年再生可能エネルギーにて発電した電力の割合を増やして来ましたが、2023年度には100%再生可能エネルギーにて発電
した電力に切り替えたので引き続きCO2排出量が0となりました。

1t当たりのCO2排出量（kg-CO2/t）

	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2030年度（目標）
CO2排出量（kg-CO2）	652,252	681,988	773,615	865,385	730,240	660,266	
処分量（t）	129,815	123,187	165,942	223,231	189,083	218,427	
1t当たりのCO2排出量	5.02	5.54	4.66	3.88	3.86	3.02	2.91



こちらのグラフは建設汚泥や汚染土壌を1t運搬・処分する際に排出されるCO2を表します。
1t当たりのCO2排出量は、運搬距離や処分方法により大きく変化しますが、運搬時のエコドライブの心掛けや、電気のプランを再生可能エネルギー
100%のプランに替えたことにより削減されています。
基準年の2020年度と比較して、2025年度の処分量1t当たりのCO2排出量は40%削減しています。
数字が表す通り、処分量が増加しても1tあたりのCO2排出量は削減できているので、弊社の様々な取り組みの影響が出ていると思います。
SBT認証で2030年度の目標値は、2020年度の基準から42%減の2.91（kg-CO2/t）なので、惜しくも達成できませんでしたが、引き続きCO2の削減
に努めていきます。



社会
Social

社会との共存・共栄

関連するSDGs

自社の事業活動は、地域住民や社会からの理解があってこそ成立すると考えています。そのためには、企業として多様な社会課題に対してステークホルダーとともに向き合い、社会課題を解決していき人や地球に社会的意義のある価値を提供し続けることを目指しています。また、「持続可能な企業」であり続けるためには、一緒に働く仲間である従業員がパフォーマンスを最大限に発揮できる環境を作ることが重要であると考えています。そのために、従業員にとって重要な要素である「従業員の可能性を伸ばす（能力開発）」、「事故のない職場環境」、「ワーク・ライフ・バランス」を通じて、従業員の幸せを追求します。

人・地球にもっと＋

サンコーリサイクルのコミットメント	2025年度実績	2030年までの目標	SDGsの貢献ターゲット
従業員の生きがいと働きがいを応援＝ 年次有給取得率	50.8%	100%	8.5
仕事とプライベートの両立を応援＝ 月末1週間の就業時間が60時間以上の雇用者の割合	0	0を維持	
健康経営の推進＝健康診断受診率	100%	100%を維持	3.1/3.2/3.3/ 3.4/3.8/8.8
コミュニティへの参画及び発展＝ 社会貢献に寄与するプロジェクトに参加した件数	3	取り組みの強化	プロジェクトによって対応

人・地球を守る

サンコーリサイクルのコミットメント		2025年度実績	2030年までの目標	SDGsの貢献ターゲット
労働安全衛生	強度率	0	0を維持	8.8
	度数率	0	0を維持	
気候変動対策や自然災害対策（適応）		対策あり	取り組みの強化	11.5/13.3

環境に配慮し、安心の拠点となる次世代工場

東海市と防災協定を締結し、施設が津波一次避難ビルとして指定されています。ただ空いてるスペースを避難所として使用するのではなく、工場の設計段階から屋上庭園を避難所として機能させるべく、専用に設計しております。さらには大規模な備蓄倉庫も完備しており、緊急時でも快適に避難生活を過ごせるようにあらゆるものを備蓄しております。ビジネスだけでなく、地域にも貢献できる企業の第一歩として、この度無事に工場が完成いたしました。災害時は地域の皆様に開放いたしますので、是非近隣にお住まいの皆様は、避難場所の一つとして弊社の工場をご考慮ください。

避難所スペック

避難場所住所	＜当社＞愛知県東海市浅山三丁目190番地　工場屋上	収容可能人数	223人
土壌保管庫面積	1,759.79㎡（法定延床面積　1,397.50㎡）	屋上津波避難スペース	346.44㎡
備蓄倉庫床面積	154.86㎡	地上から屋上津波避難スペースまでの高さ	10.5m
壁面緑化	5,250ポッド	雨水貯水タンク	20,000L

備蓄食料を子供食堂に寄付し、防災と福祉を両立

災害時に備えて保管していた備蓄用の食料の期限が近づいたものを地域の子供食堂に寄付いたしました。非常時に備えることはもちろん大切ですが、備蓄品を期限切れで廃棄するのではなく、必要としている方々へ届けることで、食品ロスの削減と地域福祉への貢献につなげています。寄付した食料は子どもたちの食事や活動の場で活用いただき、地域の皆さまとのつながりを感じられる取り組みとなりました。

Health and Productivity Management

健康経営

「健康経営」とは、従業員の健康を守り、増進することが、将来的に企業の生産性向上や収益増加に結びつくとの考え方に基づき、経営的視点から戦略的に健康管理を行うことを指します。健康経営の重要性はますます高まっており、従業員が健康であることが企業の持続的な成長に直結するという認識が広がっています。

サンコーリサイクルでは、この「健康経営」の考え方を取り入れ、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、安心して働ける職場環境の整備に積極的に取り組んでいます。

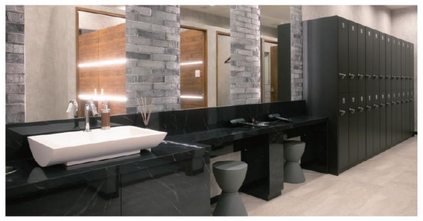
当社が推進している具体的な健康経営に関する取り組みの一部をご紹介します。

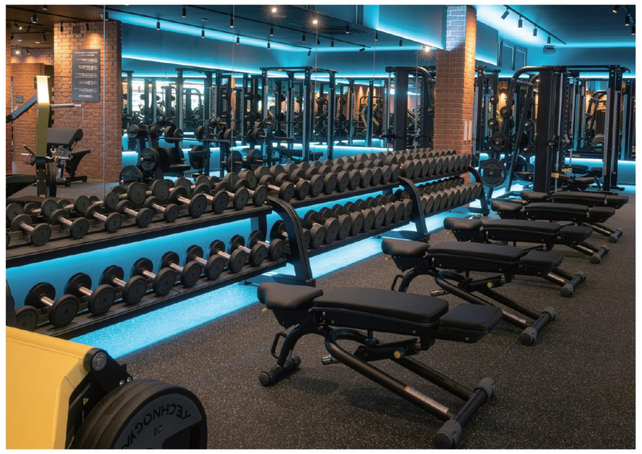
東海市との取組

東海市が実施している「健康づくり出前講座」や「健康度評価」の実施、さらに2026年2月に開催された「東海市健康経営セミナー」では当社の実例を発表しました。これらの積極的な健康づくりへの取組が評価され「令和7年度いきいき元気キャンペーン」において「健康づくり推進優良事業所　市長賞」を受賞しました。今後も東海市の一員として、健康で活力あふれる街づくりへ向けた取組をしていきます。

運動機会の増進に向けた取組

歩数アプリの「あいち健康プラス」を利用し、社内ウォーキングイベントを不定期に開催。スポーツジムの法人契約をし、従業員が気軽に利用できる環境を整えています。





バランスの取れた食生活の促進

食生活の改善も健康維持に大きく関わる要素です。

当社では、バランスの取れた食事を提供する設置型の社員食堂を導入し、従業員が健康的な食事を手軽に選べる環境を整えています。

さらに、食堂で提供されるメニューは栄養バランスに配慮されており、健康に寄与する選択肢を多く用意しています。

加えて、購入金額の半額を会社が負担することで、従業員がより安価に健康的な食事を摂取できるようにしています。

この取り組みは、従業員の健康意識を高め、長期的な健康増進に繋がると考えています。

健康診断の結果から、高血圧と肝機能異常について判定が悪い従業員が多いため食生活の改善を意識することが大事です。

まずはチャレンジしやすい「ベジチェック」を実施しました。

ベジチェックは手のひらをセンサーにかざすだけで野菜摂取量の推定値を計測できる簡易測定器であり、従業員が自身の食生活を可視化します。

この取り組みにより、日々の食生活における野菜不足を自覚し、改善意識を高めることができます。

野菜摂取の増加は免疫力向上や生活習慣病の予防にもつながり、従業員のパフォーマンス向上につながります。

メンタルヘルス対策

当社では、従業員のメンタルヘルスの向上を重要視し、職場における心理的な健康状態を継続的に管理しています。

年1回実施されるストレスチェックでは、全従業員のストレスレベルを確認し、特に高ストレスと判定された従業員に対しては、速やかに対策を講じています。該当する従業員には、部署のリーダーと共に業務内容や教育の在り方を見直し、具体的な改善策を立てて、ストレスの軽減に努めています。加えて、高ストレスでなくても、面談を希望する従業員には定期的なフォローアップを行い、職場環境の改善に役立てています。

これにより、全従業員が安心して働ける職場づくりを目指しています。

生活習慣病等の疫病の高リスク者に対する重症化予防

生活習慣病やその他の疾患の予防においては、早期発見と早期対応が重要です。

当社では、従業員が毎年実施する定期健康診断後、精密検査が必要とされた場合には、必ず再検査を受診するよう働きかけています。

特に、再検査（D判定）を受けた従業員には、再検査結果の提出を義務付け、未提出の従業員に対しては個別に声かけを行い、全員が適切な対応を取ることを徹底しています。

このような取り組みにより、従業員の健康状態を長期的に管理し、重症化する前に予防策を講じることで、安心して働き続けられる環境を提供しています。

腸内環境の改善から健康維持・促進

2024年11月から「ヤクルト」を従業員に配布しています。

ヤクルトに含まれる「乳酸菌シロタ株」は生きたまま腸に届き、腸内環境を整える働きがあることが知られています。腸内環境の改善により、免疫力の維持・強化の効果が期待できます。

腸は免疫細胞の約70%が集中しているといわれており、腸内環境を整えることで風邪や感染症の予防につながります。

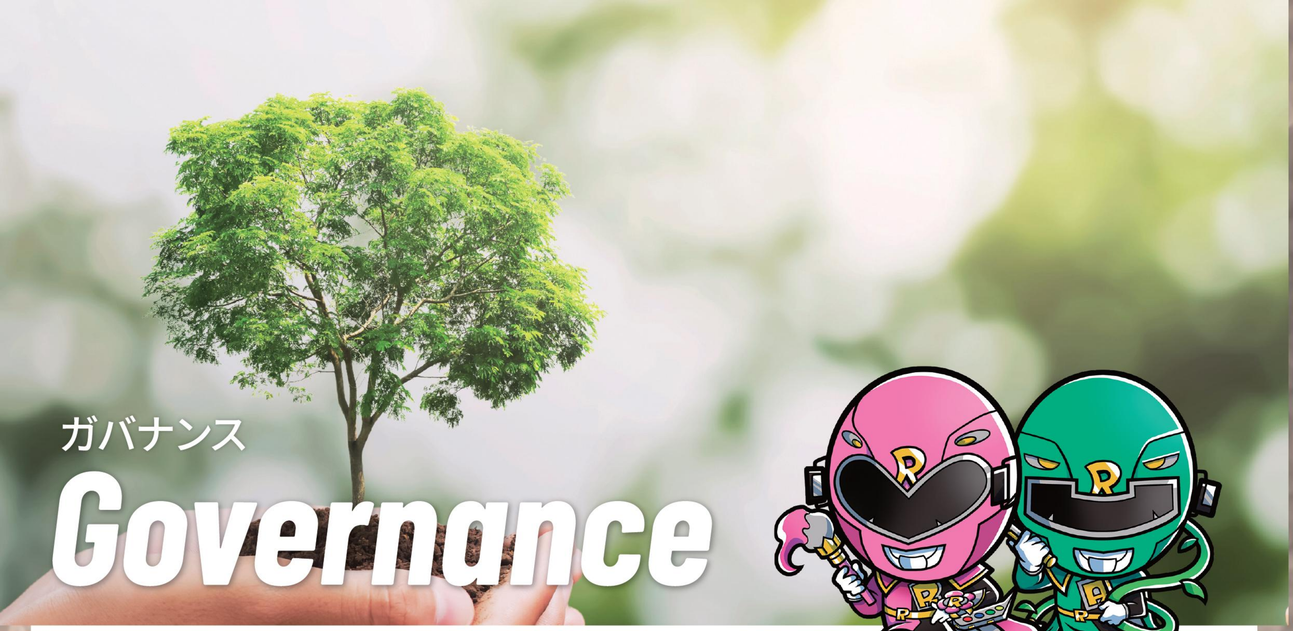
また、腸内環境が精神的ストレスや気分にも影響を与えることが分かっており、ストレスマネジメントの一環としても期待できます。

適切な働き方実現に向けた取組

法令の休暇に加え、独自に「子供の行事休暇（年3日/有給）」および「家族の介護休暇（年3日/有給）」を新設し、仕事と家庭の両立を支援しています。

感染症予防に関する取組

インフルエンザ予防接種の費用補助や職域接種を実施し、オフィス全体の安心・安全な環境維持に努めています。



ガバナンス

Governance

公明正大な企業

関連するSDGs

廃棄物処理事業を運営する中で、最も基盤となるのが廃棄物処理法をはじめとする全ての法令を遵守していくことです。公明正大に事業活動を実施していくことによって、お客様や取引先様に安心・安全なサービスを提供し続けることができます。「ステークホルダーから必要とされ続ける企業」であることを目指し、経営の公正性・透明性の確保及び企業価値の向上のために、企業行動規範に則りコーポレート・ガバナンスの充実を図ります。

人・地球にもっと＋

サンコーリサイクルのコミットメント		2025年度実績	2030年までの目標	SDGsの貢献ターゲット
環境法規制をはじめとするあらゆる法令・規則の遵守	制裁措置件数	0	0を維持	16.4
倫理的かつ合法的な行動	重大な違反事例	0	0を維持	16.5
コーポレートガバナンスの強化	重大な違反事例	0	0を維持	16.6

産業廃棄物収集運搬業許認可の概要

許可地域	許可番号
愛知県	第02300015340号
岐阜県	第02100015340号
三重県	第02400015340号
静岡県	第02201015340号
長野県	第02009015340号

Our Activity

サンコーリサイクルの活動や取り組み

環境・エネルギー分野の社会的な取り組みに積極的に参加するとともに、社員が安心して働ける環境づくりや動物園・水族館の支援などの社会貢献にも力を入れています。

エコアクション21認証・登録
認証・登録番号0010659

愛知県ファミリーフレンドリー企業登録

あいちカーボンニュートラルチャレンジ宣言

再エネ100宣言
RE Action

SBT※の取り組み
（Science Based Targets）

※ SBT（Science Based Targets）は、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準（Well Below 2℃）に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のことです。

健康宣言チャレンジ事業所
登録

東山動植物園動物スポンサー・
名古屋港水族館法人サポーター会員就任

健康経営優良法人認定

愛知県休み方改革
マイスター企業　認定

あいちSDGsパートナーズ
登録

安全経営あいち登録

サンコーリサイクルは、地域とのつながりはもちろん、従業員のはたらく環境の向上にも努めています。

従業員の健康診断受診率100％が、健康経営の第一歩です。

月に1回、社内の安全委員会を実施し、労働災害防止や健康増進の取り組みを行っています。

従業員の生きがいと働きがいを応援するため、誕生月に15万円分の旅行券をプレゼントしています。

東山動植物園の動物スポンサーとして、生き物を守ると共に地域のこどもたちに笑顔を届けます。

海洋文化の普及と名古屋港の発展を目指す活動に賛同し、名古屋港水族館のサポーターとなりました。